

シノキサシン 200mg カプセル

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に薄めた pH6.8 のリン酸緩衝液（1→2）900mL を用い，溶出試験法第 2 法（ただし，シンカーを用いる）により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 60 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸緩衝液（1→2）を加えて正確に 100mL とし，試料溶液とする．別にシノキサシン標準品を 105℃ で 1 時間乾燥し，その約 0.022g を精密に量り，薄めた pH6.8 のリン酸緩衝液（1→2）に溶かし，正確に 100mL とする。この液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸緩衝液（1→2）を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，吸光度測定法により試験を行い，波長 351nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 60 分間の溶出率が 70% 以上のときは適合とする．

シノキサシン（ $C_{12}H_{10}N_2O_5$ ）の表示量に対する溶出率（%）

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

W_S ：シノキサシン標準品の量（mg）

C ：1 カプセル中のシノキサシン（ $C_{12}H_{10}N_2O_5$ ）の表示量（mg）

シノキサシン標準品 日本薬局方外医薬品規格「シノキサシン」．ただし，乾燥したものを定量するとき，シノキサシン（ $C_{12}H_{10}N_2O_5$ ）99.0%以上を含むもの．